

北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 4 号 (通巻 No.168)

2004 年 6 月 21 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道東太平洋イカ類資源調査結果

調査期間 : 2004 年 6 月 9 日～6 月 18 日

調査海域 : 道東太平洋 (図 1)

調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台搭載

道東沖に前年を上回るスルメイカが来遊

1. 水温分布 (図 1)

調査海域の深度 50m の水温は 1～9℃ 台でした。調査海域の北西の襟裳岬沖で 1℃ 台と低く、南西と東で 8℃ 以上と高くなっていました。

2. 分布密度 (図 1, 2)

調査を行った 6 調査点の分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は、0～7.40 で、北緯 41 度、東経 144 度および 145 度の調査点で高くなっていました (図 1)。平均 CPUE は 1.87 で、過去 3 年を上回りました (図 2)。

3. スルメイカの大きさ

スルメイカの外套長 (胴長) は、10～20cm でした。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 17cm で、前年 (15cm) より大型でした。

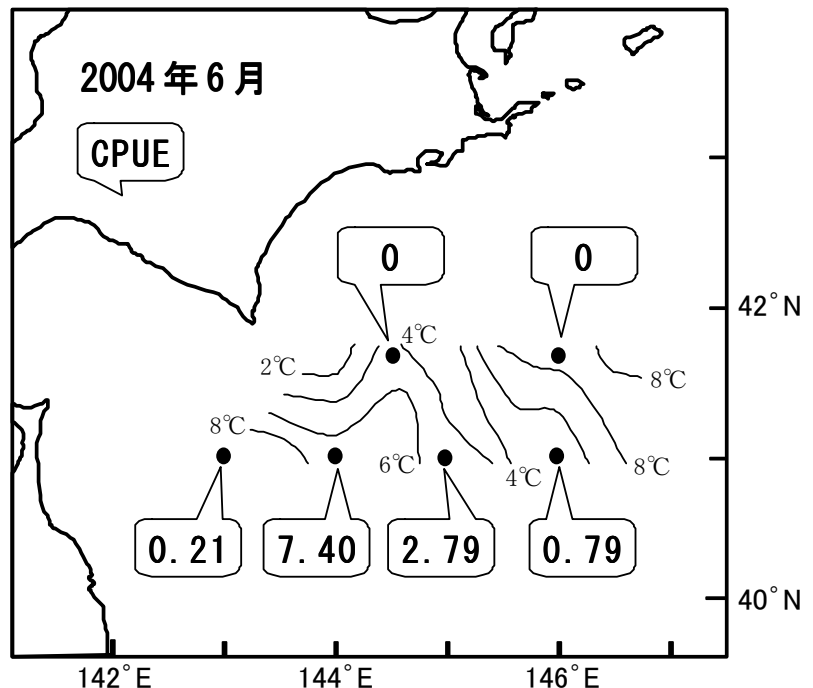
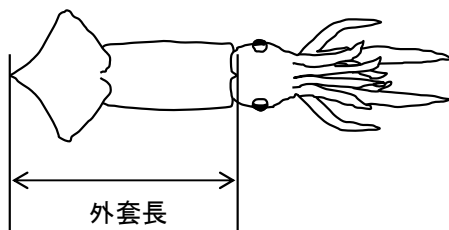


図 1 道東太平洋におけるスルメイカの分布密度 (CPUE) と 50m 深水温

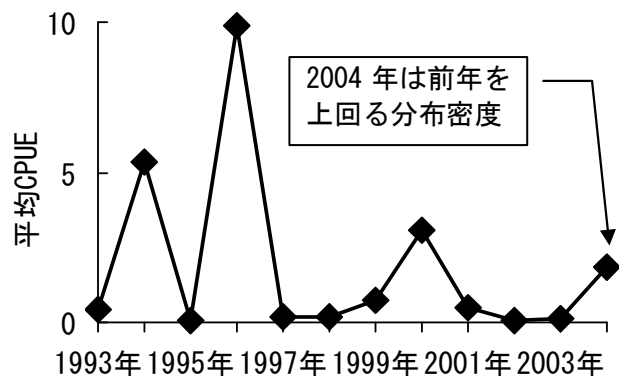


図 2 スルメイカの分布密度の経年変化